

令和5年度 学校評価アンケートの結果について

中井町立中村小学校

軽暖の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。また、日頃から本校の教育活動につきましてご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。さて、過日実施しました令和5年度 学校評価アンケートにつきまして、児童と保護者の皆様からの回答に焦点を当てて結果をお知らせします。

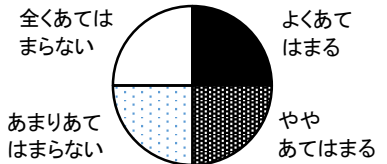
■実施時期：令和6年1月

■実施対象：児童＝1～6年生、保護者＝全家庭（教職員にも実施）

* 児童回答率 98.4%、保護者回答率 80.4%

ここからは、「学校全体について」と、本校の「めざす子どもの姿（なか・む・らの子）」に分けて、お伝えしていきます。なお、「よくあてはまる」と「あてはまる」を加えた割合を「肯定率」（満足群）としてお示しします。

グラフの見方



○ 取り組み、結果の分析 等

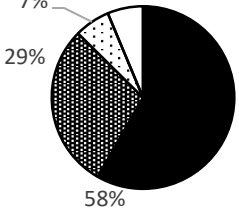
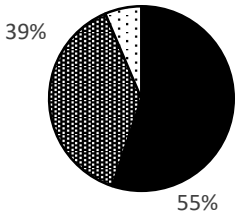
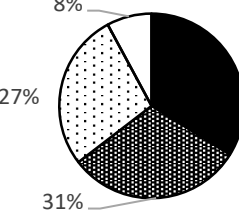
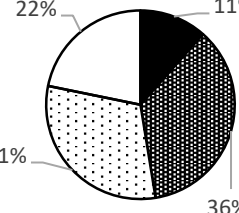
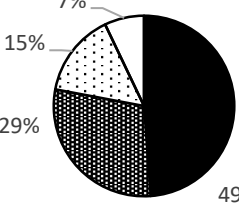
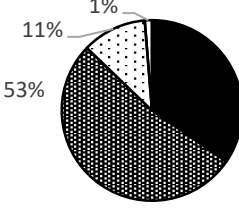
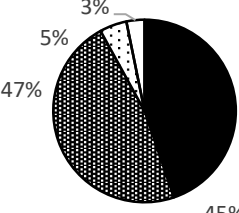
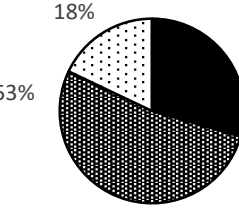
◆ 今後の改善に向けて

学校全体について

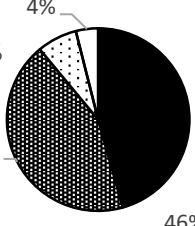
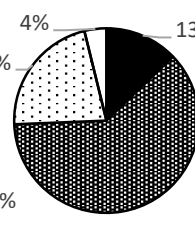
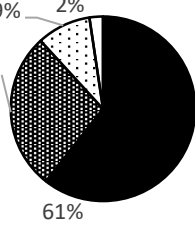
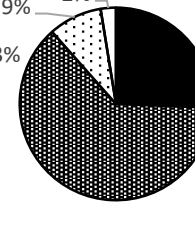
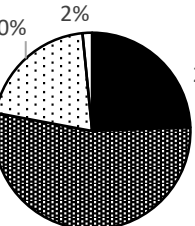
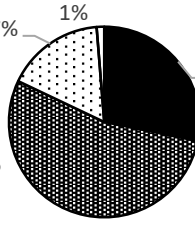
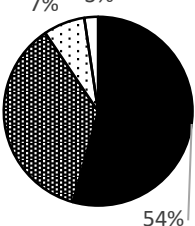
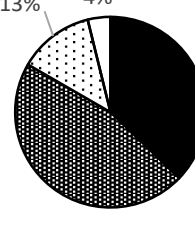
設問 ① 学校教育目標の理解	①教職員からの評価 ※効果的な伝達 肯定率＝ <u>91.7%</u>	①児童からの評価 肯定率＝ <u>84%</u>	①保護者からの評価 肯定率＝ <u>73.1%</u>	○全校朝会の先生の話で、学校教育目標やめざす子どもの姿を伝えました。各学年の学習や行事等において、学校教育目標との関連などを説明するようにしてきました。 ◆今後も、発行物等で学校教育目標や活動の教育的な意味を伝えていきます。児童には、活動後に予想される自分たちの伸びた姿を具体的に伝えるようにしていきます。
設問 ② 開かれた学校	②教職員からの評価 肯定率＝ <u>91.7%</u>	②児童からの評価 肯定率＝ <u>83%</u>	②保護者からの評価 肯定率＝ <u>91%</u>	○授業参観・懇談会、運動会などを実施しました。児童は校内・校外でさまざまな活動に取り組むことができ、その様子を伝えたいと学校や学級から通信を発行しました。 ◆今後も授業参観・懇談会を計画的に実施していきます。また、学校だより、学級通信を引き続き発行していきます。学校のホームページも適時に更新していきます。

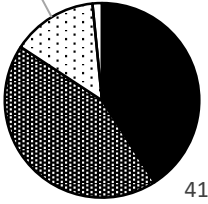
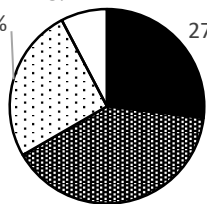
なか 豊かな心(仲良く、思いやりのある子)〔徳〕

設問 ③ いじめ・不登校対策	③教職員からの評価 肯定率＝ <u>100%</u>	③児童からの評価 肯定率＝ <u>88%</u>	③保護者からの評価 肯定率＝ <u>79.5%</u>	○定期的にいじめアンケートを児童に実施しました。内容を教職員で共有し、早期に組織的に対応するようにしました。 ◆今後もいじめアンケートの内容や保護者からの相談などをもとに速やかに対応していきます。児童の日々の様子を注意深く見て、心配な点は早い段階から家庭と連携していきます。児童には積極的に声をかけ、相談しやすい雰囲気をつくっていきます。
------------------------------------	--	--	---	--

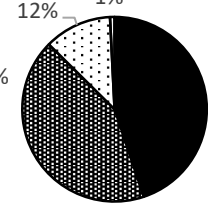
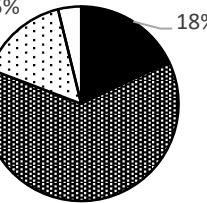
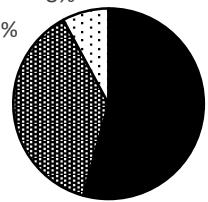
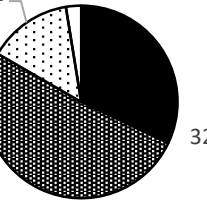
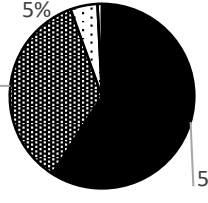
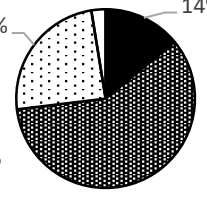
設問 ④ 学校生活の充実	④教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	④児童からの評価  肯定率= <u>87%</u>	④保護者からの評価  肯定率= <u>93.6%</u>	○内容や形態を工夫し、「分かる楽しさ」を感じられる授業を行いました。特に地域を題材にした体験的な学習などに積極的に取り組みました。さまざまな活動を通して、仲間と協力し合うことの大切さを理解する気持ちを育てることができました。 ◆地域教材や、生活経験から具体的に考えられる教材を活用した授業の展開に努めます。学年や学校全体で取り組む行事では、児童の思いをできるだけ生かすようにしていきます。
設問 ⑤ 読書	⑤教職員からの評価 肯定率 = <u>92%</u>	⑤児童からの評価  肯定率=65%	⑤保護者からの評価  肯定率=47.4%	○朝の時間に、読書タイムやボランティアの方々による読み聞かせを実施しました。また、図書委員会の児童がキャンペーン活動として読書すごろくを企画し、全校で楽しみながら読書に親しみました。 ◆学習内容に関連するような本を積極的に紹介するなど、児童が本に出会う機会を工夫して設けていきます。また、読書の習慣化に向けて、家庭での時間の使い方などを情報発信していきます。ボランティアの方々による図書室整理や読み聞かせは、継続してお願いしたいと考えています。
設問 ⑥ 異学年交流	⑥教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑥児童からの評価  肯定率=78%	⑥保護者からの評価  肯定率= <u>87.2%</u>	○縦割り班での清掃や遊びを年間に渡って実施しました。上学年の児童が下学年の児童を優しくリードする姿があります。 ◆これからも異学年交流の場づくりをしていきます。上学年児童が適切にリードできるように、各学年児童を教師の方でも支えていきます。また、登校班も貴重な異学年交流の場と捉え、引き続き地域の皆さまに見守りをお願いしたいと考えています。
設問 ⑦ 自他のよさ	⑦教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑦児童からの評価  肯定率= <u>92%</u>	⑦保護者からの評価  肯定率= <u>82.1%</u>	○児童は自分のよさを分かり、自信をもって毎日の生活を過ごせていると考えます。学習等の振り返りの時間では、自分の成長と次の課題を見つけています。また、学習の中でも帰りの会でも、友達のよかったところを見つけ合っています。 ◆今後も振り返りの時間を大切にし、自分の成長や友達のよかったところを見つけていきます。教師も児童のよさを積極的に見つけて、褒め、価値づけていきます。

⑧ 確かな学び(夢中になって学習する子)〔知〕

設問 ⑧ 学習意欲	⑧教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑧児童からの評価  肯定率 = <u>89%</u>	⑧保護者からの評価  肯定率 = <u>74.4%</u>	○教職員で互いの授業を見合うなど、授業技術の向上を図りました。体験的な学びや、児童同士の教え合いを盛んに行うことができました。授業場面でタブレットなど I C T の活用が一段と進みました。 ◆具体物に加え、I C T の活用もさらに進め、操作することで能動的に理解する学習を大事にします。また、ドリル学習などによって、基礎的・基本的な力を伸ばしていきます。
設問 ⑨ 評価	⑨教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑨児童からの評価  肯定率 = <u>88%</u>	⑨保護者からの評価  肯定率 = <u>88.5%</u>	○評価の規準をしっかりと持ち、何度も確認しながら、客観性のある評価を行ってきました。また、あゆみ(通知票)には、何がどのように評価されているのか事前に説明するようにしました。 ◆ねらいやゴールを先に伝え、終わりには児童に到達度を自己評価させていきます。児童には努力を評価する声かけをし、保護者へも、児童の日頃の取り組みのよさなどをこまめに伝えるようにしていきます。
設問 ⑩ 地域学び	⑩教職員からの評価 肯定率 = <u>92%</u>	⑩児童からの評価  肯定率 = <u>78%</u>	⑩保護者からの評価  肯定率 = <u>82.1%</u>	○各学年で、地域の人・もの・ことと関わる学習をさらに展開できないか検討し、実践しました。新たに取り組んだ学習もあり、これまでよりも地域を生かした学びを充実させることができました。 ◆まちをステージに、体験を通した実感を伴う学びを引き続き充実させていきます。保護者の方に対しては、学校だより、学級通信などで地域の方からの学びの様子を伝えていきます。今年度の内容を次年度へ引き継ぎ、つながりを大切にします。
設問 ⑪ あいさつ	⑪教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑪児童からの評価  肯定率 = <u>91%</u>	⑪保護者からの評価  肯定率 = <u>83.3%</u>	○表情が見えると互いの気持ちを通わせやすく、子どもたちの中にあいさつを交わす姿を多く見ることができました。児童会でも秋にあいさつ運動を企画し、成果を上げました。 ◆今後も、道徳や学級活動の時間などであいさつの重要性を学ぶようにしていきます。学校だより等でも家庭や地域にあいさつの輪の広がりを発信していきます。

設問 ⑫ 説明学習	⑫教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑫児童からの評価  肯定率 = <u>84%</u>	⑫保護者からの評価  肯定率 = <u>66.7%</u>	○学校で学んだことを家庭でふり返り、家の人に説明することで自分の理解を確かなものにするというねらいが、児童には浸透していると考えます。 ◆説明学習の意味や具体的な取り組みなどを年度の初めに伝え、また年度途中でも確認するようにし、継続的な取り組みができるよう支援していきます。
-------------------------------	---	--	---	---

⑬ 健やかな体(力いっぱい健康づくりに取り組む子)〔体〕

設問 ⑬ 食育・健康教育	⑬教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑬児童からの評価  肯定率 = <u>87%</u>	⑬保護者からの評価  肯定率 = <u>80.8%</u>	○健康診断に加え、養護教諭が各クラスで歯ブラシ指導などを行いました。昇降口近くの保健・給食掲示板への貼り出しを引き続き充実させました。6年生と希望する保護者を対象に、睡眠について学ぶ学校保健委員会を開催しました。 ◆児童と保護者の方に関心をもってもらえるよう、引き続き工夫した伝え方を心がけます。
設問 ⑭ 安全教育	⑭教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑭児童からの評価  肯定率 = <u>92%</u>	⑭保護者からの評価  肯定率 = <u>83.3%</u>	○火災や地震等の避難訓練、1年生防犯訓練、全校交通安全教室などを実施しました。今年度は集団下校訓練を年3回設け、安全に気をつけた歩行指導や通学路点検を充実させました。 ◆今後も保護者や地域の方と協力して、朝の交通安全指導を継続して取り組んでいきます。また、各種の避難訓練では、訓練の重要性を理解させ、真剣な態度で適切な行動を取るよう児童に伝えていきます。
設問 ⑮ 体力づくり	⑮教職員からの評価 肯定率 = <u>100%</u>	⑮児童からの評価  肯定率 = <u>94%</u>	⑮保護者からの評価  肯定率 = <u>73.1%</u>	○朝の時間に週に1回、スポーツタイムを設定しました。体育委員会が中心になって進行し、体操やドッジボール、長なわなどさまざまな種目に児童は取り組みました。運動会の開催を5月後半から10月後半へと変更しました。 ◆全国的に子どもの体力低下が心配されています。運動・体力づくりの大切さを丁寧に伝え、実践へつなげていきます。

<まとめとして> 保護者の皆様と学校運営協議会委員の方々から寄せられました声を、今後の学校の教育活動にぜひ生かしていきたいと思ひます。教職員一同、今後も子ども達のために努力してまいります。学校評価へのご協力、ありがとうございました。

問合せ先

教頭

電話 81-1116